

何かの
おまじない??



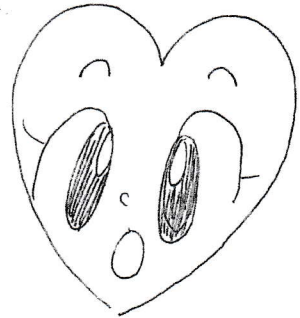
塾に通っている子が



なんて書いて

なんかしていたのですが...
あれって何ですか？

うん。「速さ」の問題を考えるのに
そういうのがあるみたいよ。
きっと「速さ」について説明するのが
めんどくさい先生が使ってるんじゃないから。



時代に乗りかたか!?

えっ!! 「速さ」の問題を
解くのに使うの？

じゃあ、僕も知らないよ

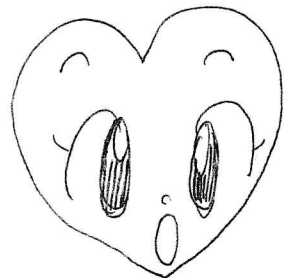
いけないかなあー?!

知らなくても
問題なの!

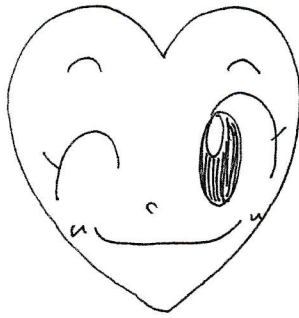
ガーン キキ

いらないわね。

え!?! いいの?
本当に!?



それを今日は
「速さ」について
考えてみましょう!



まずは
この問題から...!

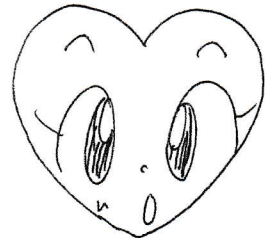
問題

まり子さんは6分間で300m歩きました。
あきらさんは8分間で480m歩きました。
どちらの方が歩くのが速いといえますか?



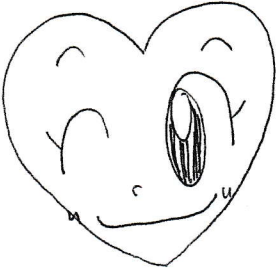
こんなの、
比べられないよ!!

あら、
どうして?

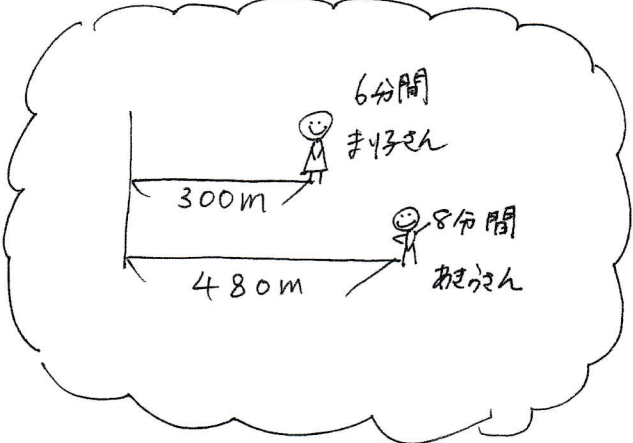


だって、歩いた
長さが違うの
だから!!

それはその通りね。
でも何とかして比べられる
んじゃないかしら？



ええと...



〇*

〇*〇

あきさんは
8分間で480mだから
4分でその半分の240mの
とこにいた.....



何か思いつきそうです。
もう少し待って...

みんなも
考えてみてね!





あーこのか
が... ラーン

ラーンと...
自分は自信ない
のですけど...

言ってみて!



自信持て!!



えーと...

あきらさんは8分間歩いたんですね。
だから、例えば6分間どこまで
歩いたかを調べて、まゆさんと
比べるとか... かな?

大正解!!
もと自信を持って答えてね。
もう一つくらいない?

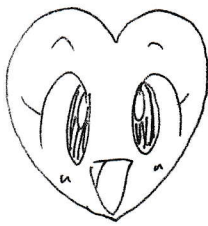
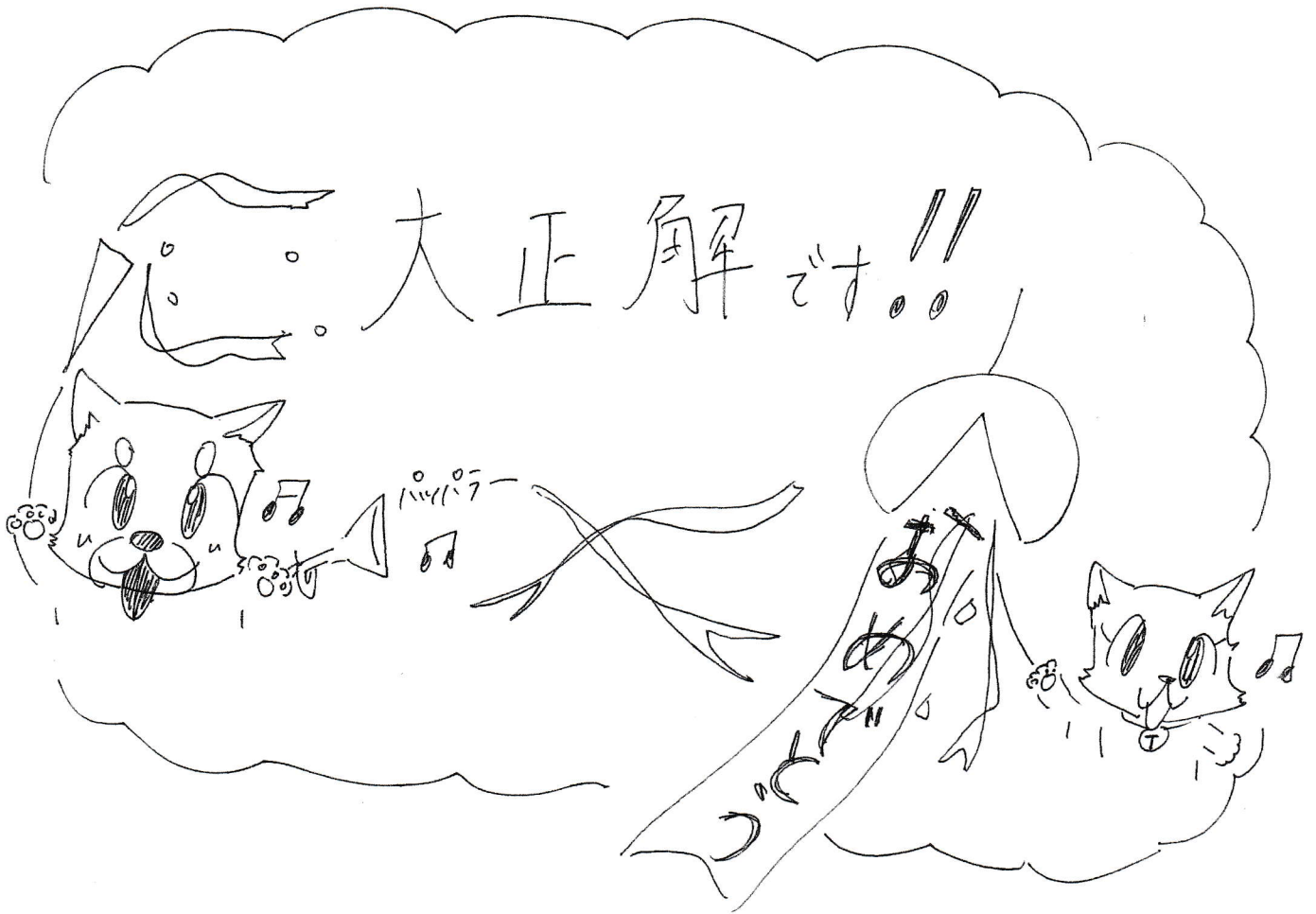


よくできた!



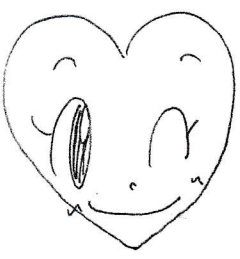
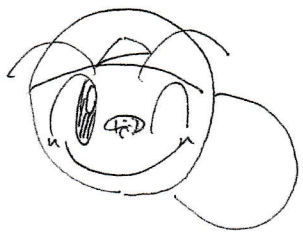
あ!!

あきらさんは480mを
歩いたのだから...
300m 歩くまでに何分かかったかを
調べても比べられそう!



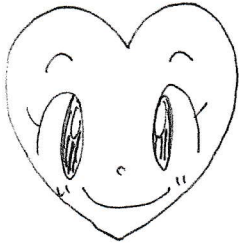
よく考えました!
では、それで考えて
みましょう!

はい!



2つ考えてくれたわね。
じゃあ、セツヤすいように先に
あきらさんが1分あたり何mの
ペースで歩くか出してお持ちね!

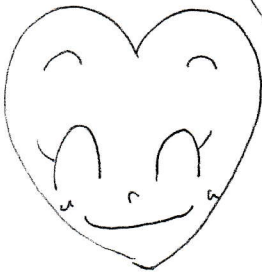
あきらさんは8分間で480m歩きました。
では、1分あたり何m歩いたということですか



$480 \div 8 = 60$ 、
60mです!



そう、1分あたり60m進むって
いうことね。
じゃあ、6分間でどこまで進むから?



えーっと... 1分で
60mだから、 $60 \times 6 = 360$
360mですか?



大丈夫よ!
自信持てたい!

正解です。
まり子さんは6分間で
360m歩いたんだよね。



あきらさんの方が
歩くのが速かった
ということですね!

ほるほど!

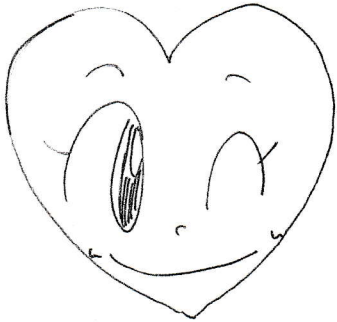


それじゃ、はい。



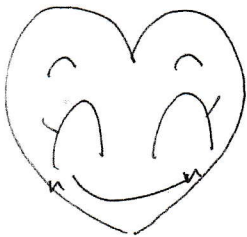
もう一つ考えてくれたわね。
あきらさんが300m進むのには
どのくらいかかったか調べて比べて
みればいいって。

はい。



これもあきらさんが1分あたりに
60m進むってことから考えてみましょう。
1分で60m進んでことは、2分で120m。
3分で180m....
じゃあ、300m進むのに何分かかる？

4分で240m、5分で300m。
あ!! 「5分」です。
まり子さんは300m歩くのに6分かかる
から、やっぱりあきらさんが速い!



その通り!



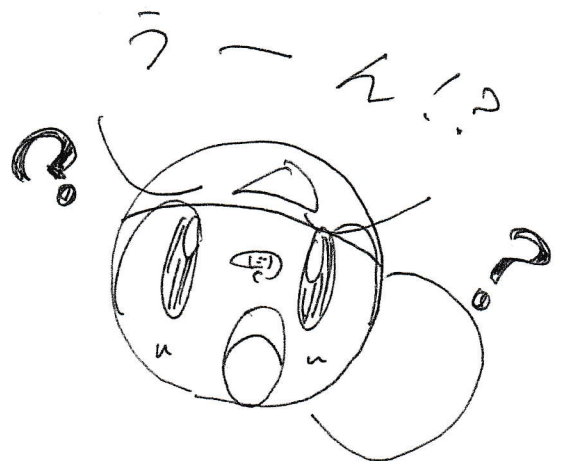
み
はじ なんて
いらないでは？

え！何のことですか？
今「速さ」の計算なんて
しましたか？

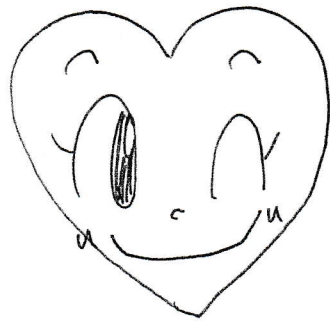


確かにこれだけ説明不足ね。
でも、ここまで「速さ」に関する計算は
もう一通り終わったのよ。

まだちゃんと
命がりません。
もう少し説明を
お願いします。



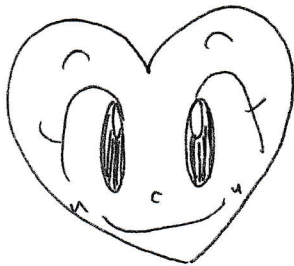
それでは
改めて...



『速さ』について
説明します。

〇×〇 ———— 〇×〇

まず最初に...



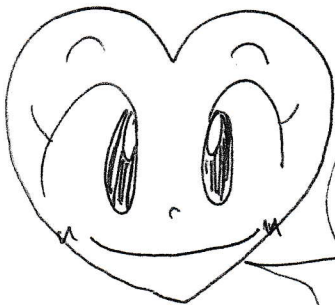
あきらさんが1分あたりに
何m進むかを考えたよね。

はい!!

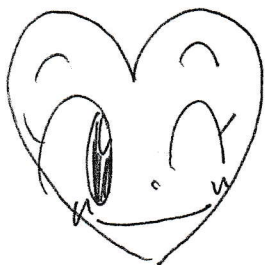
1分あたり
60mのペースでした。



え?!!



「1分あたり何m進むか?」
これを「分速」といいます。
あきらさんは「分速60m」の
速さで歩いたということです。



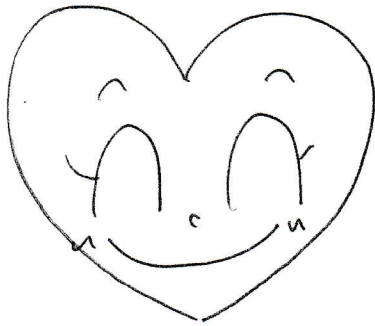
まり子さんは6分間で300mでしたね。
では、まり子さんの歩いた分速は
どれくらいですか?

「1分あたり何mすすむか？」が、
分速だから...

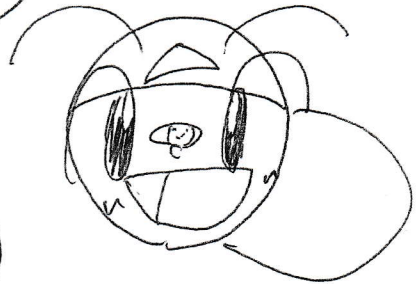
300mを6分で割って
 $300 \div 6 = 50...$



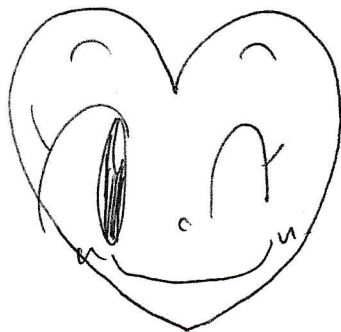
分速50m!!



正解よ!!

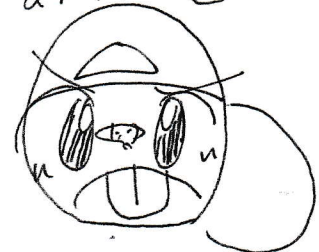


まり子さんは「分速50m」
あきらさんは「分速60m」
これだけでもどちらが速いのか
わかったわね。

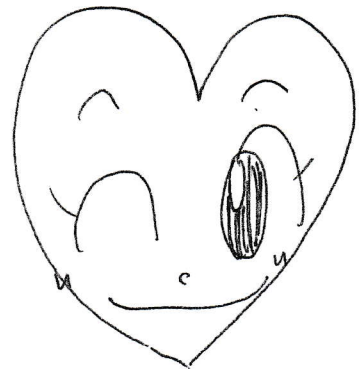


でも、大切な計算が
できて良かったのよ。

あきら〜



1分あたりにどれだけすすむかを
表す「分速」の他に
1秒あたりどれだけ進むかの「秒速」
1時間あたりどれだけ進むかの「時速」が
あります。どれも言葉の意味さえはきり
理解していれば大丈夫です。



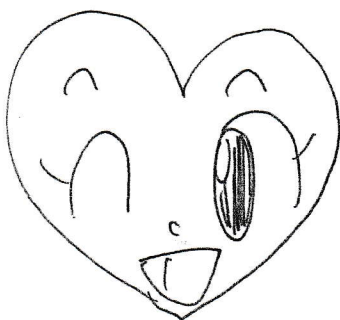
次に分速60mのあたりから
6分間にどれだけ進むかを
考えましたよね。



はい!



分速、ていうのは1分あたりに
どれくらい進むかだから。
6分でどれだけ進むかは
6をかければいいわよね?

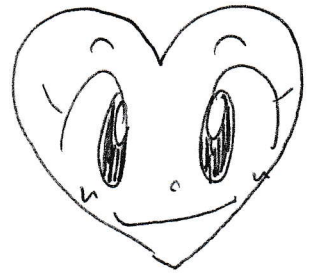


はい! 納得です。



では問題

解けるから...?



問題

時速40kmで走っている車があります。
この車は5時間で何km進みますか？

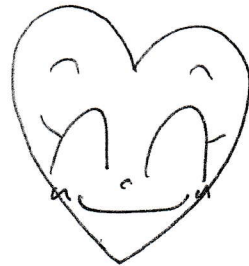
ええと...



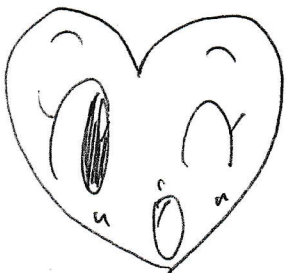
時速40kmというのは
1時間あたり40km進ん
どことだから、 40×5 で...

200km!!

正解よ!



それで...



あまちゃんか「分速60m」
300m進むのに何分かかるか
考えれば

はい!

$60 \times 5 = 300$ なのよ
5分と答えが出ました!



そうだったよね。

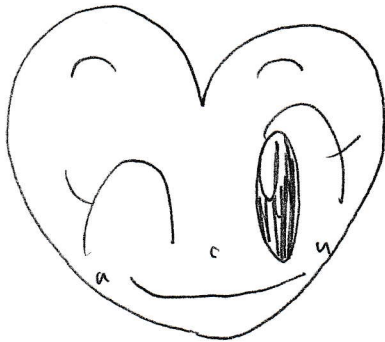


まきは かけ算だったけど
結局 300の中に60が
いくつあるか考えた、わかる。

改めてみれば...
そうかと思えます。



そう!



「分速 60m」とは、
1分あたり 60m 進む、ということ。
だから、300の中に60がいくつあるか
考えれば 何分か、たかよめるの。

わり算ね!!

なるほど...
 $300 \div 60$ だから... 5
あ、「5分」って出す。



問題

時速40kmで走っている車があります。

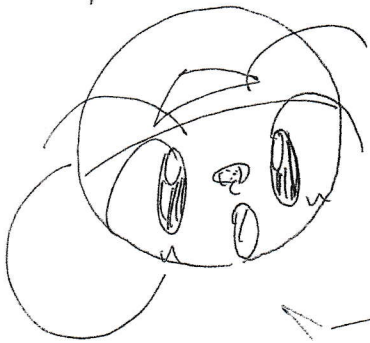
この車が240km進むのに
何時間かかりますか？

では、またこの問題です。



この問題も「時速40km」の
意味から考えよう。

ええと...



時速40kmということは
1時間に40km進んで
ことだから...

240の中に40がいくつあるか
考えて... $240 \div 40$ ぞ...

どうだ!!

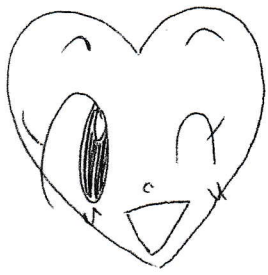


6時間です!

正解です!!

さすがね!!





$$\begin{array}{|c|} \hline \text{子} \\ \hline \text{は} \\ \hline \text{じ} \\ \hline \end{array}$$

ていうのは。
こういう問題が出たときに
どう計算するかを考えるのに
使うらしいわよ。

そんな必要
あるんですか!?

えっ!!
いらなくない?



本当よね。



教える方が「速さ」について
考えるのをめんどうくさがると
しか思えませんね。
そもそも「速さ」について分かって
ないのかもしれないですね。

みんなはそのつど単位の意味を
しっかり考えて解くようにして下さい。
そうしないと、何のタメにもなりません。
そうした方が結局は計算を速く
できるようになりますよ。